

祝餅弥栄(いわいもちいやさか)
によるパフォーマンス

Pounding mochi rice cake
by Iwaimochiayasaka

祝餅つき体験

4/20(土)

午後 12 時 30 分 ~ 13 時

縄文餅ふるまい

4/29(月・祝)

午後 12 時 30 分 ~ 14 時
(※無くなり次第終了)

祝餅弥栄(いわいもちいやさか)

「あなめでた 杵と臼とで 天地結ぶ

尊きわをなすめおと弥栄」

弥栄による餅つきは、皆で和をなしお餅をつく事を通じて
体感できる芸術としての餅つきであり、命の間に生まれる
尊さを祝福していく。「餅つきで世界をつなぐ」をテーマに、
日本全国の奉納式や結婚式、お祭りや祝い場等、お祝い事・
神事・舞台として、また、世界各国から日本の文化伝承など
を目的として餅つきを行っている。



アーティスト作家のトークライブ

Artists Talk

4/20(土) ~ 5/1(水)

4/20

(土)

午後 15:00 ~ 16:00



安保成子(あぼせいこ) 有松絞り作家 ABO NON KIKAKU 代表

愛知で 400 年つづく伝統工芸・有松絞り。『古に学び今をデザイン』をコンセプトにホテル、レクサスショールーム、料亭のイン
テリア、企業ノベルティ制作などモダンな表現を得意とする。教育現場での講演・ワークショップを通し次世代に伝統工芸や和文
化の魅力を伝え、また、個展やイベントも精力的に主催している。

【受賞歴】COREZO 賞

4/21

(日)

午前 10:30 ~ 11:30



吉田恭隆(よしだやすたか)

素材から非加熱で抽出された、素のままのフレグランスは、香りを纏うものの感覚や感性を素の状態に一瞬で引き戻す。縄文時代
から続く、日本人独特の感性である中空構造。感性で開発されてきたフレグランスを展開する。

アンバーグリスジャパン代表であり、龍涎香の日本で唯一の専門家。テレビにも出演多数。

4/24

(水)

午後 14:00 ~ 15:00



小池一三(こいけいちぞう)

1948 年愛知県生まれ。2011 年より独学でアーティスト活動を開始。20 代から縄文土器や生活に魅了、縄文文化や色について追
求している。現在は縄文土器から聴こえる無形のメッセージに耳を傾け、受け取るメッセージから作品を生み続けている。

名古屋市博物館個展「富士づくし」など多くの個展を開催。

4/24

(水)

午後 14:00 ~ 15:00



名和ショウ(なわしょう)

陶芸の窯でガラスを製作し、陶土とガラスの特性を活かした作品を制作するセラミックアーティスト。質感の異なるガラスと陶を
絶妙なバランスで組み合わせ、花器や器、ガラスを作り上げる。1953 年京都生まれ。1976 年大阪芸術大学工芸科を卒業。陶磁器
デザインフォーラム・インセと審査員特別賞、東海ガラスアート展佳作賞等、賞陶作も多数。

4/29

(月・祝)

午後 15:00 ~ 16:00



山内果奈(やまうちかな)

6 歳から書道始める。公益財団法人「日本習字」にて学生時代は学び、成人してからはネームインポエム作成等、ART 書道を志す。
2023 年は個展を 2 度開催、10 月には、ピアニストとの「音 × 書」のコラボコンサートを開催。2024 年に入り、書道ライブパフォー
マンスにてイベントに 4 度出演。書を通して、豊かで精神性の高い日本人の原点である縄文の創作力と情熱を兼ね備え、【本質的
な日本人の素晴らしさ】を伝える活動をさまざまな場面で取り組んでいる。

4/29

(月・祝)

午後 15:00 ~ 16:00



堺克弘(さかいかつひろ)

1975 年宮崎県生まれ、岐阜県瑞浪市在住。学生時代に伊藤麻沙氏に師事。何だかちょっと癖があるけど、つつい使ってしま
う暮らしに合う心温まる「うつわ」を作陶している。めし碗グランプリ展 スポンサー賞やユニークな器展 大賞、
現代茶陶 TOKI 織部奨励賞、美濃陶芸展 中日奨励賞など多くの受賞歴を持つ。

5/1

(水)

午前 11:00 ~ 12:00



杉本達哉(すぎもとたつや)

愛知県春日井市出身。思春期に不登校、統合失調症を経験。唯一の心の支えであったギターを片手に日本 3 周を達成。北海道で出
会ったアイヌ民族に「アイヌ刺繍」を学んだ。2020 年刺繍屋「Moon・Cat・Seed」を開業。

現在、伝統工芸の横降りミシンで刺繍絵画を手掛ける。生地から製品を縫製するなど、唯一無二のオリジナルな製品を制作する。

5/1

(水)

午前 11:00 ~ 12:00



水野可菜(みずのかな)

若き女流友禪師。中学生のとき手描き友禪染に出会い、高校卒業後に京都の染め工房へ入社。現在「水ノ友禪工房」の屋号を掲げ、
最初から最後まで手作業で商品を作り上げている。現代的でもあり古典的でもある作風は唯一無二で、美しく瑞々しい。名古屋や
台湾で個展を開き、日本染織作家展入選等、数々の受賞歴がある。